



京都切り絵歳時記

月刊 あじえんだ 2007年 1月



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL:075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球温暖化対策課内
TEL:075-222-4037 FAX:075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp
<ホームページ> http://ma21f.web.infoseek.co.jp/

謹賀新年 今年もともに「パートナーシップで取り組む環境まらづくり」と進めていきましょう

京のアジェンダ
21フォーラム

KES 倶楽部

1 / 2 4 (水) サロン de エコ (会員交流会) を開催



当フォーラムの会員が、気軽に参加し情報交換できる相互交流の場として、会員交流会「サロン de エコ」を KES 認証取得者の交流会「KES 倶楽部」と共同で開催します。

■場所：京都タワーホテル7F 宴会場 (JR 京都駅烏丸口正面)
(http://www.kyoto-tower.co.jp/tower_hotel/index.html)

■当日プログラム

- 18:00 開会
- 18:05 話題提供 「京のアジェンダ21について」
フォーラム代表 内藤正明氏
- 18:35 質疑、意見交換
- 19:00 懇親会 (立食形式)
- 20:30 閉会

■参加費：4000 円

■参加人数：50 名まで (先着順)

■対象：フォーラム会員、KES 倶楽部メンバー

■申込方法：

フォーラム事務所 (E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp, FAX: 075-647-3536, TEL:075-647-3535) に、お名前 (団体会員の方は、団体名と、参加される方全員のお名前)、連絡方法 (E-mail、FAX、TEL (携帯可) でご希望の連絡方法をご記入ください) を書き、お申し込みください。

■締切：1月17日 (水)

■主催：京のアジェンダ21フォーラム、KES 倶楽部

今回は、環境と共生する持続可能なまちづくりをめざす行動計画「京のアジェンダ21」について、フォーラム代表の内藤先生から話題を提供していただき、その後、ざっくばらんな意見交換を行います。

フォーラムは「京のアジェンダ21」の取組を進めていく推進組織として設立されたもので、「京のアジェンダ21」はフォーラムとしては「基本文書」となりますが、設立8年が経った現在、KES 認証取得をきっかけに会員になられた企業等も増えてきている中、目にされたことのない会員の方々とともに、今一度「京のアジェンダ21」を読む機会を持ちたいと思います。ぜひご参加ください。

また、後半は立食形式の懇親会とし、参加者同士、自由に交流できる時間を設けますので、会員間の情報交換や活動アピールにご活用ください。ぜひお気軽にご参加ください。

■日時：1月24日 (水) 18:00 ~ 20:30

京のアジェンダ
21フォーラム



第2回フォーラム企画会議報告 改革の進捗と次年度以降の方針について討論

12月12日 (火)、ひと・まち交流館 京都において、第2回企画会議を開催しました。

ありました。

1. 「フォーラム改革プラン2006」の進捗状況

2006年5月12日の「改革推進プロジェクト会議」にて提案され、18年度総会で承認、また本年度の重点取組として位置付けられている「フォーラム改革プラン2006」の進捗状況について事務局より報告し、全体としてはまだ残された課題はあるものの、ほぼ遂行されているということで、確認されました。

2. 来年度の活動方針の検討

来年度の活動方針については、来年度のみ視点でなく、中長期的な展望の中に位置付けられるものとして考えるべきでは、と事務局から提案しました。

それについて、「京都市の地球温暖化対策条例及び計画を軸とした検討に協調行動を取っていき、その上で2010年までの今後3ヶ年の事業成果達成に注力すべき」、「企業と地域との連携強化」、「交通問題における『歩いて楽しいまちなか戦略』の成功に向けた動き」といった意見が出されました。

ただ、広報・コミュニケーション、会員サービスについては、会員サービスのあり方も含めて考え直す必要性や、KES 認証取得企業等、最近増加傾向の団体会員と個人会員とのメリットの違いによる会員サービスの再検討、情報の受け皿機能の確立等といった意見が出ました。またワーキンググループについては、プロジェクトとの機能分離や再編も考慮していたところですが、現状から無理に変更せず、プロジェクト実行を重点的に考える場としていく方向で活動を続けるのが良いという提案が

今後、活動方針等について今回の企画会議での意見交換をもとに事務局が案 (特に今回課題として残った活動方針などの考え方や、会員サービスと関連付けた広報・コミュニケーションのあり方等) をつくり、それをもとに来年1月上旬~中旬に企画会議を開催して再度意見交換し、来年度以降の活動方針等についてさらに内容を検討することが確認されました。

Agenda
Forum
1月の
ミーティングと
主催行事の予定

- 12月26日~1月4日まで京エコロジーセンター休館につき、京のアジェンダ21フォーラム事務所休所
- 5日 (金) 仕事始め
- 16日 (火) 16:00 ~ 18:00 自然エネルギーWG会議 (気候ネットワーク事務局)
- 24日 (水) 18:00 ~ 20:30 サロン de エコ (会員交流会) (京都タワーホテル7F 宴会場。詳細上記)
- 26日 (金) 省エネ相談所 (左京区役所、中京区役所、山科区役所、洛西支所。詳細2ページ)



脱温暖化行動 キャンペーン

～地球の未来にやさしい風を～

「脱温暖化行動キャンペーン」～地球の未来にやさしい風を～進捗状況報告

2007年2月の1ヶ月間実施予定の「脱温暖化行動キャンペーン（以下、キャンペーン）」の内容について、プロジェクトチーム（以下、PT）で企画調整を進めています。PT内に設けた3つの専門チーム（交通部門、エネルギー部門、統一行動部門）で検討が進んでいる具体的な内容について、現在の進捗状況を報告します。なお、下記統一行動部門からの報告にもありますとおり、キャンペーン専用のウェブサイト（<http://www.datsuondanka.org>）を開設しております。最新情報はそちらをご覧ください。



交通部門

●交通局と取り組む公共交通利用促進

○子どもの公共交通利用促進

～公共交通への子どもの利用促進を目指す「地下鉄・市バスを乗りこなそう」

地下鉄・バスで移動すると、マイカーよりもどれだけ二酸化炭素が削減できるかということ、子どもたちに理解して

もらう企画です。現在、「子ども用地下鉄1日乗車券」または「子ども用市バス1日乗車券」で、2月の任意の1日にどこに移動したのか報告していただける小学生を募集しています。当フォーラムでは「子ども用地下鉄1日乗車券」と「市バス1日乗車券」を各200枚用意しました。400名の参加希望者に無料配布いたします。

応募条件に該当し、ご希望の方は、住所・氏名・学年・電話番号・希望する1日券の種類（子ども用地下鉄1日券か子ども用市バス1日券）を、80円切手を貼付した結果返信用封筒を同封の上、フォーラム事務所まで郵送してください。（応募者多数の場合は抽選。2007年1月15日必着）

■応募条件：下記の3つすべてを満たす方

1. 京都市内の小学校に通学される児童
2. 1日券の利用方法や感想などを報告できる方
3. 移動の際には必ず保護者が同伴できる方
（移動時の保護者の1日券は自費で購入してください）

■宛先：〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内
京のアジェンダフォーラム21事務所



エネルギー部門

●あなたのまちなにもやってくる。省エネ相談所

○月々の電気・ガス代などを記入するだけで、お得なアドバイス満載の「エコライフ診断書」がもらえます！

○相談に来られた方に、協力店より省エネ家電割引券進呈

2007年2月の脱温暖化行動キャンペーン～地球の未来にやさしい風を～の一環として、キャンペーン期間中、省エネ相談所を、京都市内の全区役所・支所14箇所で開催します。

相談所では、日々の暮らしやエネルギー使用に関する簡単なチェックをしていただくだけで、その結果をもとに、相談員から、それぞれの家庭にあった省エネのアドバイスが受けられます。

省エネ相談を受けられた方には、省エネ家電の特別割引券

が付いた省エネ診断証明書（仮）を進呈。これを機に、省エネ家電に買い換えたり、生活スタイルを見直すなど、地球と家計にやさしい暮らしへの第一歩を踏み出しましょう。

■主催：京のアジェンダ21フォーラム

■実施日時、場所

- 1月26日（金）
左京区役所、中京区役所、山科区役所、洛西支所
- 2月2日（金）
上京区役所、東山区役所、南区役所、右京区役所
- 2月9日（金）
北区役所、下京区役所、伏見区役所
- 2月16日（金）
西京区役所、深草支所、醍醐支所
いずれも10：00～15：00に開催（先着30名）。

統一行動部門

●あなたも脱温暖化の行動宣言をぜひ！

キャンペーンの主役は一人ひとりの市民の皆さんです。キャンペーンの行動期間である来年2月1日～28日の1ヶ月間、あなたにもぜひ、地球温暖化に歯止めをかける

脱温暖化の取組について行動宣言をお願いします。

○ネットで宣言！

<http://www.kyoto216.com/> にアクセスしてください。

今すぐ出来る脱温暖化の取組を「エコライフの実践」10項目・「エコドライブの実践」5項目にまとめた統一行動メニューへの取組の宣言をインターネットで行っていただけます。インターネットで取組の報告を行ってくださった方には、ポイントを貯めて景品と引き換える特典がついています。ネットにアクセス出来る方はぜひご参加ください。

○FAXで宣言！

市役所・区役所をはじめ各所で行動宣言のチラシを配布しています。チラシにご記入いただいて「京都いつでもコール」（FAX 075-661-5855）にFAXで宣言をお届けください。

京都市の「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」第3回幹事会でフォーラムが都心アンケート調査の結果を報告

京都市が推進する「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」は、市内有数の繁華街と京町家などの伝統的な町並みが共存する「歴史的都心地区」（四条通・河原町通・御池通・烏丸通に囲まれた地区）において、自動車中心から徒歩と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」実現を目ざし、住民や買い物客、観光客が安心安全に往来し、まちの魅力を楽しめるまちづくりを推進しています。

メンバーは、学識経験者、地元組織（自治連合会、東山交通対策研究会、商業関係者）、交通事業者、国土交通省、京都府警察、京都市、関係団体（祇園祭山鉦連合会、京のアジェンダ21フォーラム、歩いて暮らせるまちづくり推進会議）です。

12月11日（月）には、京都市勧業館（みやこめっせ）に

おいて、「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」第3回幹事会が開催されました。フォーラムからは今年の「まちなかを歩く日」（11月11日・12日）に実施した都心の交通に関するアンケート調査の結果報告を行いました。

京都市民・市外からの来訪者がともに、大多数が四条通の“トランジットモール”（歩行者と公共交通機関の優先道路）化に賛成していることなど、調査結果の要点を具体的な数字を挙げて紹介しました。

この取組を進めるフォーラムの「まちなかプロジェクト」（本年度重点プロジェクト）では、別項の駐輪場調査とともに年内に報告書を取りまとめ、さらに、今後の都心の交通政策に関する具体的な提案を行う考えです。

●詳細は交通WGウェブサイト <http://traffic.ifdef.jp/>へ



交通WGの「まちなかプロジェクト」(本年度の重点プロジェクト)では、12月3日(日)と4日(月)の両日、京都市建設局放置車両対策課と財団法人京都市駐輪場公社の協力を得て、都心にある先斗町自転車駐輪場と寺町臨時自転車駐輪場の利用者を対象にした利用実態調査を行いました。

本調査は、京都市が推進している「歩いて楽しいまちなか戦略」の実現にあたって重要な自転車の交通政策について、10月に発表された「都心部放置自転車等対策アクションプログラム」の内容に関連付けた具体的な政策提案を行うための基礎資料を得ることを目的としています。

調査は無事終了し、2日間・2ヶ所の合計で300名の利用者の協力を得て有用なデータを得ることができました。

調査の主要な項目は“駐輪場に自転車を停めて、どのような目的で、どこまで歩いていったか”です。2つの駐輪場の使い分けや、今後4年以内に都心に新設される3ヶ所の駐輪場の利用促進と放置自転車の削減を考えるうえで基礎になる情報です。

現在、プロジェクトではデータの整理と分析を進めています。たとえば、先斗町自転車駐輪場の利用者には阪急河原町駅からの通勤・通学のために駐輪する人が多いといった特徴や、両駐輪場とも年齢が10代の利用者は少なく、この若年齢層が放置自転車対策の重要なターゲットと考えられることなどが浮かび上がりつつあります。

詳しい調査結果は、後日、交通WGのウェブサイト「京の交通交流ひろば」にて報告書を公表しますので、ご覧ください。「京の交通交流ひろば」<http://traffic.ifdef.jp/>



助成金案内 環境取組を対象とした助成金情報を紹介します

1. パタゴニア/環境助成金プログラム

<http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/pubsys/view.rb?cd=2538>
<http://www.patagonia.com/web/jp/patagonia.go?assetid=6517>

■助成対象

- ・常に行動を起こしているグループ
- ・広く一般の人々を巻き込み、支持を得ているグループ
- ・目的を達成するために戦略的に活動しているグループ
- ・問題の根本の原因を見極め、その原因に働きかけているグループ
- ・明確な目標と活動対象を持っているグループ
- ・パタゴニアがビジネスを展開している地域で活動しているグループ

■助成金額

活動内容、用途などによるが、多くの場合は200,000円から700,000円の範囲。

■応募締切：2007年1月31日

■問合せ

パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム係
 担当：篠
 住所：〒248-0006
 神奈川県鎌倉市小町1-13-12 本覚寺ビル
 TEL：(0467)23-8961

2. 財団法人日立環境財団/平成19年度(第6回)「環境NPO助成事業」

<http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/>

pubsys/view.rb?cd=2671
<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/topics/topics23.html>

■助成対象

(1) 助成団体

特定非営利活動促進法(NPO法)第10条の規定にもとづき設立された国内の法人、又は3年以上の実践活動歴を有する国内の任意団体(再委託や、第三者の活動支援を主たる目的とする活動は除く)。

なお、活動暦が3年未満の任意団体についても、優れた提案については審査委員会の判断で助成対象とする。

(2) 活動目的

- 「環境と経済との調和」に資する活動
 - 「環境と科学技術との調和」に資する活動
- ・政策提言など、実践的活動での効果が期待される「調査研究」
 - ・環境学習、環境教育に係る活動
 - ・NPO活動に携わる専門家の育成を目指した活動
 - ・国際交流(人材の派遣、招聘)活動

■助成金額

1件当りの助成金額は原則として150万円を限度とし、数件の団体を選定し助成する。

■応募締切：1月26日(当日消印有効)

■問い合わせ・応募先

財団法人 日立環境財団
 〒101-8010 東京都千代田区外神田四丁目14番1号秋葉原UDXビル21階
 Tel 03-3257-0851 Fax 03-3257-0854

※詳細は各助成財団にお問い合わせください。

事務局動静 12月 ~事務局スタッフの動きを報告します~



- | | | | |
|-------|--|---------------|---|
| 1日(金) | 法政大学学生取材対応
事務局会議 | 9日(土) | 「地球環境問題連続セミナー」出席 |
| 2日(土) | 「とよなか環境展2006」出展 | 9日(土)、10日(日) | 京都環境フェスティバル出展 |
| 3日(日) | 自転車駐輪場調査 | 11日(月) | 「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」幹事会 |
| 4日(月) | エコツーリズムワーキング
グループ(以降WG)会議
事務局会議
自転車駐輪場調査 | 12日(火) | 第2回企画会議 |
| 5日(火) | 京都パープルサンガホーム
ゲームにおけるリユース食
器導入検討打合せ | 13日(水) | 醍醐コミュニティバス運行管理委員会出席
K-CSR会議、脱温暖化行動キャンペーン京都ネ
ットワーク会議 |
| 6日(水) | 中小事業者による環境に関する地域社会貢献事業
推進プロジェクト(京エコロジーセンター2006年
度「地球温暖化防止先進モデル事業」以降“K-CS
R”)打合せ | 16日(土)、17日(日) | 「民が進める温暖化防止2006」
出席 |
| 8日(金) | 『月刊あじえんだ』公衆運輸取材 | 17日(日) | 京都パープルサンガファン感謝デー出展 |
| | | 18日(月) | 自然エネルギーWG会議
伏見新エネルギー研究会 |
| | | 20日(水) | 省エネラベル協議会出席、省エネ相談所打合せ、
事務局会議、「温暖化防止塾」出席 |
| | | 25日(月) | 交通WG会議 |
| | | 26日(火) | 幹事会、仕事納め |



KES 認証取得企業の声

公栄運輸株式会社

京都市との、ごみ収集運搬自動車の
庸車（ようしゃ＝車と運転手を派遣）

契約業務

TEL 075-602-2627

2006年9月に、KESステップ2を認証取得

社長が以前から、「業務自体、ごみ収集という地球環境問題に直接関わることをしているの、何か環境への負荷を減らせることをしたい」と考えていました。ISO14001の講習会に参加したこともありましたが、費用や取組の難しさの問題があり、どうするか迷っているときにKESのことを知り、KESを認証取得しました。

書類の作成が大変で何回か作り直しをしましたが、社員が最初から協力的だったこともあり、目標どおりの成果が出てきています。

内容としては、①電力使用量の削減、②プロパンガス使用量の削減、③一般廃棄物の発生量の削減、④グリーン調達
の推進、⑤会社周辺の清掃等社会貢献の5つの取組を行



っています。業務でごみ収集車を使うので、この業務だからこそできる環境取組、普及啓発を行っています。例えば、運転手に時速50km未満での走行等、エコドライブを呼びかけたり、所有する22台全てのごみ収集車で、天ぷら油を原料にしたバイオディーゼル燃料を使っています。ごみ収集車にはKESのロゴマークを貼っているの、街で見かけたことがある方もおられるかも知れませんが、また会社周辺の清掃活動では、専用の黄色いユニフォームを着て、みな楽しんで掃除しています。今後も環境に関する研修会に積極的に参加し、日々の業務の中で、常に環境の視点を忘れず、取組をすすめていきたいと考えています。

(取締役総務部長 笠井文雄さん)

左写真：

笠井さん（左）と代表取締役社長の山本龍太郎さん（右）KESのロゴマークが付いているごみ収集車の前で



< KES 認証事業部より > ★ 12月の新規認証取得 2006年12月1日登録分

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

●ステップ1

- KES1-0497 山科電気工事 (株) (京都市中京区)
- KES1-0498 (株) 福本建設 (京都市左京区)
- KES1-0499 (株) 大晋サービス (京都市左京区)
- KES1-0500 コスモ機器 (株) (京都府久世郡久御山町)
- KES1-0501 (有) 城陽環境開発 (京都府城陽市)
- KES1-0502 京都弁護士会 (京都市中京区)
- KES1-0503 京都桜花運輸 (株) (京都市南区)
- KES1-0504 (株) 野間造園 (京都市山科区)
- KES1-0505 エヌケイ建設工業 (京都市伏見区)
- KES1-0506 (株) 山富舗道 (京都市左京区)
- KES1-0507 竹中オプトニック (株) (京都市山科区)
- KES1-0508 名神電機 (株) 本社・京都工場 (京都市伏見区)
- KES1-0509 (株) ミナミ工業 (京都市伏見区)
- KES1-0510 京工建設 (株) (京都市伏見区)
- KES1-0511 (社) 京都産業会館 (京都市下京区)
- KES1-0512 (株) 山下組 (京都市左京区)
- KES1-0513 中央道路 (株) (京都市伏見区)

- KES1-0514 (株) 岡田造園 (京都市南区)
- KES1-0515 (株) 木原組 (京都市西京区)
- KES1-0516 (株) 大住建設 (京都市西京区)
- KES1-0517 (株) 水田造園緑地 (京都市山科区)
- KES1-0518 (株) 西村宇工務店 (京都市山科区)
- KES1-0519 森田土建 (株) (京都市伏見区)
- KES1-0520 (株) 清瀬産業 (京都市北区)
- KES1-0521 正栄工業 (株) (大阪府和泉市)
- KES1-0522 成山建設 (株) (京都市北区)
- KES1-0523 大光建物保全 (株) (京都市山科区)
- KES1-0524 青山商事 (株) 本社 (京都市左京区)
- KES1-0525 (株) 正光電設 (京都市右京区)

●ステップ2

- KES2-0274 (株) 小森製作所 (京都府京丹後市)
- KES2-0275 京都通信特機 (株) (京都市下京区)
- KES2-0276 (株) ビエラ (京都府久世郡久御山町)
- KES2-0277 東亜高級継手バルブ製造 (株) (大阪府枚方市)

事務局短信

12月末を以って、フォーラム事務所を退職することになりました。2002年にアシスタントとして働き始めて以来、4年半の在任中、皆様には本当にお世話になりました。取り急ぎ紙面での報告にて失礼しますが、改めて御礼申し上げます。あ、ちなみに「藤ノ森通信」のネタは一部フィクションです(笑)。(滋野) / 最近、有害獣駆除したシカ、イノシシ等の肉を、ステーキなどへと有効活用しようと検討する自治体が出てきています。一方、今年は11月末で、生息頭数の2分の1に当たる、4578頭ものツキノワグマが有害獣駆除で殺されました。有害獣駆除した個体は、原則埋設処分か焼却処分することになっているにも関わらず、儲かるからという理由で、闇で1頭数万～100万円で購入されていることが少なくありません。利益に繋がる野生動物の肉の「有効活用」は、必ず行き過ぎた捕殺につながります。各自治体には、ぜひ有害獣駆除した個体の利用はやめていただきたいと思っています。(小山) / 今年は脱温暖化行動キャンペーンの準備等で、多くの方との出会いがあり、これまで関わりがなかった新しい分野を知ることができました。一年前より随分、視野が広がったように思います。来年も更に自分の世界の幅を広げて、仕事に活かしていきたいです。さっそく、サロン de エコでまた新しい出会いがあることを期待しています。これまでフォーラムの行事に参加したことがない方もぜひどうぞ(ー) (竹村) / フォーラム改革の大方針の下、今年、事務局の業務体制にもかなりの変更がありました。来年は引き続き更なる改革が進められるでしょう。新しい年の事務局に一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。どうぞ御用の節は何でもお気軽にお申し付けください。(長谷川)